

みやざき No. 267

機構トピックス

産業振興課 ものづくり企業向けのWeb商談を開催しています!



▲県工業技術センター中研修室でのWeb商談風景

もくじ

機構トピックス

- ものづくり企業向けのWeb商談を開催しています!

施策トピックス

- 令和2年度「成長期待企業」を認定!!
- 宮崎県成長期待企業等一覧
- 「みやざき若手経営者養成塾」を開講しました
- 株式会社高嶺木材が「宮崎中小企業大賞」に選ばれました!!
- 当機構が支援した企業が関係団体の賞・助成を受けました

支援事業活用のおすすめ

- みやざきフードビジネス相談セッションへどうぞ!
- 宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

コーディネーターの窓

- サボイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）の支援

令和2年度に実施したWeb商談一覧 (期日と発注企業の業種・所在地)

シーズン1 令和2年10～11月

Web個別商談

10/ 7	機械加工 (大分県)
10/12～13	装置製造 (愛知県)
10/19	装置製造 (福岡県)
10/20	金属加工 (奈良県)

10/23	機械加工 (兵庫県)
11/ 4～5	装置製造 (山梨県)
11/10	プラント (千葉県)
11/12	装置製造 (滋賀県)

シーズン2 令和2年11～12月

九州7県合同広域商談会

11/24	機械加工 (京都府)
12/ 1	金属加工 (東京都)
12/ 3	金属加工 (大阪府)

12/ 8	機械加工 (京都府)
12/10	金属加工 (京都府)
12/14	装置製造 (香川県)

シーズン3 令和3年2月25～26日

宮崎県ものづくり取引拡大商談会

2/25	機械加工 (京都府)
	金属加工 (大阪府)
	プラント (東京都)
	装置製造 (愛知県)
	装置製造 (山形県)
	装置製造 (佐賀県)
	金属加工 (大阪府)

2/26	機械加工 (京都府)
	金属加工 (京都府)
	機械加工 (神奈川県)
	機械加工 (京都府)
	プラント (大阪府)
	機械加工 (愛媛県)

ものづくり企業向けのWeb商談を開催しています！

宮崎県産業振興機構では、県内ものづくり企業の取引振興を図るため、県外（大阪または福岡）と宮崎市の2会場に県外の発注企業と県内企業を集めて、対面式の商談会を毎年度開催しています。

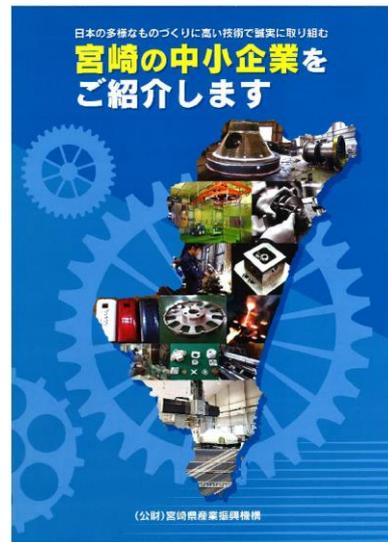
しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の収束が一向に見通せない状況の中、感染防止の観点から機構主催の対面式商談会は中止し、昨年5月からWeb商談の実施に取り組んできました。

10月から当機構の相談室や小研修室、当機構が入居する県工業技術センターの中研修室や大研修室でWeb商談を開催しましたのでご紹介します。

県外の発注企業へPR

本県中小企業を紹介したA3見開きのパンフレット（右掲）を作成し、資本金5000万円以上の主に機械金属加工の県外企業に向けて、Web商談申込書とともに郵送しました。

また、関西地区と北部九州地区に配置している取引開拓アドバイザーが、Web商談の勧誘を行いました。



▲パンフレット

Web商談 シーズン1 令和2年10～11月 Web個別商談



▲機構の相談室での商談

当初はなかなか申し込みがありませんでしたが、幅広い業種にWeb商談が普及していく中、多くの企業にお問い合わせをいただき、千葉県や愛知県など8社の発注企業の申し込みがありました。

発注企業には、商談の前にWebでの面談やメール等を通じて、本県企業に求める技術や設備はどのようなものか、Web商談でミスマッチがないよう詳細に発注内容を伺いました。

その上で、申込社の要望にマッチした県内企業を選定し、令和2年10月7日から11月12日の間に商談を設定し、延べ30社の県内企業が参加しました。

Web商談 シーズン2 令和2年11～12月 九州7県合同広域商談会



▲機構の小研修室での商談

九州7県の中小企業支援団体が共同して、九州域外の発注企業と九州各県の中小企業との対面式商談会を東京や大阪などの大都市圏で年1回開催していますが、今年度は当機構が幹事県としてWeb商談と個別あっせんによる方式へ開催方式を変更して開催しました。

この商談会には、関東や関西などから21社の発注企業が参加しましたが、Web商談にはこのうち10社が参加し、受注企業として参加した九州の中小企業76社と商談を行いました。県内から参加した中小企業延べ15社が、6社の発注企業と商談を行いました。

Web商談
シーズン3

令和3年2月25～26日

宮崎県ものづくり取引拡大商談会

毎年、宮崎市で開催している対面式の商談会ですが、今年度は感染拡大によりWeb商談による開催となりました。令和3年2月25、26日に開催した商談会には、関東や関西をはじめ、遠くは山形から発注企業13社が参加し、県内中小企業31社と商談を行いました。シーズン1や2では、発注企業1社とWeb商談を行うものでしたが、シーズン3では、当機構が入居する県工業技術センター大研修室にパソコンなどWeb商談用の機器を配置したブース6か所を設置して、発注企業6社と県内企業がWeb商談を行いました。各ブースは防音効果を高めるためパーティションで仕切りました。

参加した県内企業の中には、初めてのWeb商談で戸惑う企業もありましたが、シーズン1や2での経験を生かして円滑に商談を行う企業も多く見受けられました。

なお、参加した発注企業13社以外にも7社から参加申し込みがありましたが、これらの企業とは日程調整の上、シーズン1と同様に個別にWeb商談を実施することとしました。



▲県工業技術センター大研修室



【開会式】



【商談風景1】



【マスコミが取材】



【商談風景2】

商談先への移動が必要なく、手軽に参加できるWeb商談は、新型コロナウイルス感染症が収束した後も、取引振興策の大きな柱になっていくものと思いますが、今年度の取組の中で、商談の運営や参加する県内企業のスキルアップなど解決すべき課題も見えてきました。宮崎県産業振興機構では、来年度以降もWeb商談を積極的に開催し、商談をスムーズかつ効果的に進めるためのセミナーも検討していますので、是非ご活用ください。

令和2年度「成長期待企業」を認定!!



令和2年度 宮崎県成長期待企業認定証交付式 令和2年11月17日 於 県庁本館講堂

平成28年度に県内の産学金労官の13構成機関により創設された「宮崎県企業成長促進プラットフォーム」では、県経済をけん引する役割を担う「中核企業」を育成することを目的に、「成長期待企業」を認定しています。プラットフォームでは、認定された各社へ販路拡大や社内体制等経営に関わる様々な課題に対して、13構成機関が連携して、集中的に支援を行いながら、各社の事業計画の実現に向けた取組を進めております。新しい分野への事業展開や株式の上場など、それぞれ企業の目

標に応じた様々な支援を行った結果、着実に売上や雇用者数が増加するなど成果が表れています。

このような成果を受けて、新たに「成長期待企業」を4社認定し、県庁講堂において知事から認定証が交付されました。（令和2年11月17日）

宮崎県成長期待企業等一覧

※色がついている企業は、令和2年度認定企業

企業名	業種	所在地	企業名	業種	所在地
(株) 池上鉄工所	生産用機械器具製造業	延岡市	(株) 新原産業	その他の卸売業	三股町
(株) 井崎製作所	金属製品製造業	新富町	日本情報クリエイト(株)	情報サービス業	都城市
(株) 一平ホールディングス	飲食業、小売業	宮崎市	ネオフーズ竹森(株)	食料品製造業	都城市
(株) オファサポート	老人福祉・介護事業、学習支援事業	宮崎市	マイクロエース(株)	金属製品製造業	宮崎市
(株) くしまアオイファーム	農業	串間市	ミツワハガネ(株)	生産用機械器具製造業	延岡市
(株) コア・クリエイトシステム	情報サービス業	宮崎市	宮崎ひでじビール(株)	飲料製造業	延岡市
(株) サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市	(株) 宮防	職別工事業	宮崎市
(株) システム技研	生産用機械器具製造業	都城市	(株) モリタ	輸送用機械器具製造業	宮崎市
(株) 修電舎	電気機械器具製造業	延岡市	ヤマエ食品工業(株)	食料品製造業	都城市
(株) 新海屋	食料品製造業	延岡市	(株) 山崎産業	総合工事業	延岡市
(株) SHINGAKI	飲食料品卸売業	宮崎市	大和フロンティア(株)	木材・木製品製造業	都城市
スパークジャパン(株)	情報サービス業	宮崎市	吉田産業(株)	木材・木製品製造業	日南市
(株) 高嶺木材	木材・木製品製造業	日南市	(株) ワン・ステップ	物品賃貸業	宮崎市

「みやざき若手経営者養成塾」を開講しました

企業成長促進プラットフォームでは、個社別の支援に加え、今年度は多くの企業で課題と認識されている経営幹部の育成や経営者自身の新たな気づきの場とするため、経営者や経営幹部向けに「みやざき若手経営者養成塾」を開講しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、それぞれの専門の講師が、令和2年11月から令和3年1月まで計8回の講義を実施し、経営戦略や事業計画策定の留意点、マーケティング、財務、人事管理等経営者として身につけておくべき項目を体系的に学べる場となりました。

プラットフォームでは、今後も企業に寄り添いながら様々な支援を行っていきます。



▲みやざき若手経営者養成塾の様子 (R2.11.13)

令和2年度 株式会社高嶺木材が「宮崎中小企業大賞」に選ばれました!!



県内産業の振興や地域経済の活性化に寄与した企業を県が表彰する「宮崎中小企業大賞」に、成長期待企業である株式会社高嶺木材が選ばれました（写真右が同社の高嶺社長）。

同社では、最先端の自動倉庫や邸別ピッキングを導入し、作業効率の大幅な向上や従業員の負担軽減に大きな成果をあげています。令和2年3月に完成した高原町の新工場においては、敷地内に貯木場を設けることで、原木を素材生産者から直接仕入れることが可能になり、素材生産者の負担する市場手数料を削減することで、手数料分を原木価格に還元し、高品質の素材を適正価格で安定して仕入れることが可能となっています。問屋に限らず直接素材生産者からハウスメーカー、工務店等と繋がり特定の商流に依存しないビジネスモデルを確立しており、餌肥杉の良さを活かした製品開発も進め、高い強度を誇るフローリング材の開発など、多種多様な商品開発を積極的に行っています。

これらの取り組みが高く評価され、「新技術・新分野進出の視点」で表彰を受けました。



▲自動倉庫

お問い合わせ先

(公財)宮崎県産業振興機構
宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局
電話：0985-77-5563

当機構が支援した企業が関係団体の賞・助成を受けました

当機構が事業管理機関を務める経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）などを通じて技術開発を支援した(株)清水製作所宮崎が、次のとおり、関係団体の賞・助成を受けましたので、ご紹介します。

野口賞

(産業振興奨励賞)

「野口賞（産業振興奨励賞）」を受賞

野口賞は、野口遵顕彰会によって運営され、宮崎県内を拠点として独自の技術開発等を行い、顕著な業績が見込まれる企業等を表彰するものです。

宮崎銀行 ふるさと振興 助成事業

(産業開発部門)

「宮崎銀行ふるさと振興助成事業(産業開発部門)」の 助成先に決定

一般社団法人みやぎん経済研究所が、地域産業の開発と振興に貢献することを目的に実施している助成事業です。

技術開発の概要

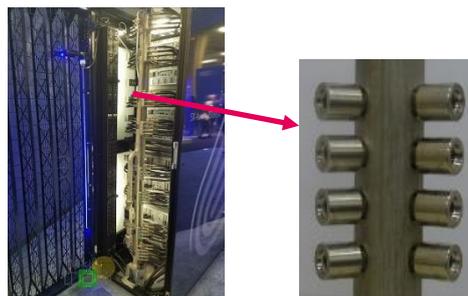
清水製作所宮崎ではステンレス配管等の溶接において、従来、熟練工により行われていたアーク・ガス溶接に代わり、瞬間的に溶接が行われ、熱歪が小さく、納期が短く、仕上がりが美しく、熟練工を要しない画期的技術である「リングプロジェクション溶接技術」を開発しましたが、実用化にあたって、溶接の最適条件を見出すことが大きな課題でした。

このため、サポイン事業を活用して、九州工業大学、都城高専と共に、わずか0.3秒という瞬時の溶着を経時的に可視化する業界初の「2.5次元シミュレーション技術」を開発し、最適溶接条件を見出すことに成功し、世界で初めてリングプロジェクション溶接技術を実用化しました。

その成果は、例えば、最新のスーパーコンピュータ用冷却配管部品に採用され、国内外に普及が始まっています。



▲様々な分野に採用されている溶接部品例



▲スーパーコンピュータ用冷却配管部品

みやざきフードビジネス相談ステーションへどうぞ!

みやざきフードビジネス相談ステーションでは、フードビジネスに関係する企業等の皆様の相談に対して、コーディネーターやアドバイザーが課題解決を支援します。

相談対応の事例や活動の紹介

新商品開発

【相談】新商品を開発したいが、レシピ・加工方法・販売戦略等について助言がほしい。

【対応】商品コンセプトづくり等の支援、加工手順や衛生管理等の助言。

連携マッチング

【相談】生産者や委託加工業者とマッチングして商品を開発したい。

【対応】事業計画の確認と助言、生産者、委託加工業者等の紹介。

販路開拓

【相談】商品の新たな販売方法や流通チャネルを開拓したいので、アドバイスをお願いしたい。

【対応】商品内容・生産量等の確認、商談会・求評会等の紹介と商談の進め方について助言。

デザイン

【相談】商品のパッケージを刷新したいので、進め方について助言がほしい。

【対応】商品及び取組の方向性の確認、当ステーション「デザイナーズバンク」等の紹介。

新規事業立ち上げ・補助事業の活用

【相談】新たな事業を立ち上げたい。資金として国や県等の補助事業を活用したい。

【対応】事業計画の確認と助言、活用可能な補助事業メニュー等の紹介。

食品表示（食品表示アドバイザー派遣事業）

【相談】商品を発売予定であり、表示案を作成中であるが、適切であるかを助言してほしい。

【対応】事業所に食品表示アドバイザーを無料で派遣し、新表示法に沿って完成まで助言指導。

トータルコーディネーター配置事業

県が実施する衛生管理・品質管理向上研修に参加した企業の収益向上を目的に、HACCPトータルコーディネーターを配置し、参加企業の課題（商品改良、販路開拓等）をハンズオン支援。

相談ステーションやフードビジネスの情報発信

フードビジネス相談ステーションNEWSを年6回発行し、支援した商品の紹介やフードビジネスに関する情報を発信。

<https://www.i-port.or.jp/food/news.html>

企業の皆様へ ～相談にあたってのお願い～

〈相談無料、要予約〉
〈WEB面談にも対応中〉

相談を希望される方は、電話による事前の予約が必要となっています。



電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30～17:15（平日）

☎ 0985-89-4452

〒880-0811 宮崎市錦町1-10
宮崎グリーンシアター番館（KITEN）3F
（FAX:0985-89-4468）
（E-mail food@i-port.or.jp）
（URL <https://www.i-port.or.jp/food/>）
相談日 月曜日から金曜日（9:00～17:00）
※土、日曜及び祝日は除く。

宮崎県よろず支援拠点へどうぞ!

宮崎県よろず支援拠点は、国（中小企業庁）が設置した無料の経営相談所です。

中小企業・小規模事業者の皆さんが抱える様々な経営の悩みに対応します。

電話でのご予約はこちら
受付時間 8:30~17:00 (平日)

☎ 0985-74-0786

こんな相談、
誰にすれば
いいんだろう?



相談事例 切り口を変えて新しい顧客を確保

相談者



不動産業

相談内容

マンションの空き部屋を個人事業向けの店舗として貸し出すためのチラシ案をブラッシュアップしてほしい

よろず支援拠点の提案

- 「賃貸契約」を「働く女性を支援するサービス」として切り口を変えてはどうか
- 物件の外観や立地、部屋の状況を配信するYouTubeチャンネルの開設

相談者

- 「スタートアップ起業女性を応援するマンション」というネーミングでサービス開始
- マンションの一室をレンタルルームとして時間利用するサービスを開始
- 「てんてん不動産ちゃんねる」を開設

成果

- 年齢層の若い女性のフォロワーを獲得
- 動画配信からわずか16日後に不動産賃貸契約を成約。成約に当たって、顧客とはSNSや動画を使って情報をやりとり(面談することは殆どなし)。以後、顧客との連絡方法はそのスタイルで行うことが多くなっている。



▲Youtubeチャンネルの開設



宮崎県よろず支援拠点

コーディネーター 島中 星輝

広告プランナー

株式会社プリング 代表取締役

デザインコンサルティング会社経営。広告やマーケティングの他に菓子製造販売、地

域観光など複数の事業を運営しているため、多くの人脈とアイデアを活用して最適なビジネスモデルを構築。

サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）の支援

1 自己紹介

延岡市出身。九州工業大学金属加工学科を昭和54年に卒業し宮崎県に入庁しました。県工業試験場に配属された当時は、県内の鋳物工場等を巡回し、大学で習ったことを生かしつつ必死に熟練者の指導を受けたことを思い出します。

昭和57年からの3年間は宮崎県機械技術センターで鐵工団地の企業の方々と切磋琢磨しながら、当時としては最新の熱処理やNC工作機械の技術を勉強しました。特に、製品を無人で高精度加工するNCワイヤーカット放電加工機は驚異的でした。当時、荒武崇幸氏がNCプログラムに精通しており、指導を受けながらプログラム技術に魅了されていきました。

企業もNC工作機械の導入を進めますが、プログラミング技術の普及は容易ではありません。そこで、まず加工したい形状の図形を先に描き、その図形からNCデータを作成するようなCAD/CAMであればプログラミング技術は不要になると考え、二次元CAD/CAM装置を鐵工団地に導入し、技術普及のための挑戦を続けました。これが、後に県内企業40社ほどにご協力いただいたのCAD/CAMソフトの開発と研究会の設立につながり、ソフトの改善が進みました。研究会にご参加いただいた企業様との関係は今も続いており、大変感謝しています。

2 担当する支援の概要

経済産業省のサポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)に関する支援をしています。以前、研究開発を支援した経験がありますが、現在は経理事務も担当しており、ようやく慣れてきたところです。

この事業で特に求められるのは、計画が具体的であること、そして製品化・事業化への道筋がしっかりと描けていることです。しかし、研究開発とは必ずしも計画どおりに進まないものです。私自身も、思わぬ壁にぶつかり悩み続けたことは少なくありません。

私の役割は、事業を始める前にそうした壁をできるだけ取り除けるような計画を皆様と一緒に考えること、そして、いざ壁にぶつかった時は、最善の解決手段を助言させていただくことだと考えています。

数年前に、サポイン事業の中間審査の審査員の経験もあり、また現在は産業技術総合研究所九州センターのイノベーションコーディネーターを拝命しております。そのような経験を生かしつつ、お手伝いさせていただければと思います。

3 サポイン事業への挑戦をお考えの皆様へ

以下のようなことを押えておくと、事業挑戦への道がよりスムーズになります。

(1) 他者が真似できない技術であること

企業が得意とする「基盤技術」があり、そこに機械装置や、ある工夫（生産工程の改善、新規の技術開発等）を付加して大きな飛躍が期待できる、といったストーリーを描けると良いでしょう。

(2) 支援協力体制の構築

この事業では、大学や公設機関等と研究グループを構築し、確実な協力体制を組み上げると採択の可能性が高まります。事前に共同研究を実施し、相互理解と協力体制を構築するのも非常に良い進め方でしょう。

(3) 経理事務体制の構築

規模の大きな補助事業なので、相当量の事務作業が発生します。機械装置の購入や開発技術の一部を外注する場合は、仕様書、見積書、発注書、請求書等を、さらに導入した機械装置を利用して作業する場合は、作業者の出勤簿、装置の使用簿、作業内容の記録等の資料を確実に整理しておかなければなりません。

出張の場合も、サポイン事業以外の業務と重なると、承認されない場合もあります。当初の予定と相違がある場合は、事前に相談することが肝心です。

以上のことを考慮して、サポイン事業に取り組んでいただければ、企業の体制もワンランク向上することは間違いないと考えます。トライしてみませんか？ 共にチャレンジしていきましょう。



新事業支援課

コーディネーター 外山 真也

サポイン事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）への挑戦を支援します。

趣味はソフト開発(C#,Python)とバイク(DUCATI Monster 796)。